

ひるの星

No. 259

もくじ			
聖	な	る	言葉
.....			2
神	の		御名
.....			3
ク	イ		ズ
.....			7
ぬり絵			
.....			8
飾り	か		ご
.....			9
み	ん	な	の
.....			10
保護者	の	ペ	ー
.....			11
ジ			

「^{しゅ}おお主よ、わが主よ、
^{ぜんち}全地にとどろく、^{ごな}あなたの御名の
^{なん}何と^{すば}素晴らしいことか！

そして、あなたは^{えいこう}その栄光を
^{てん}天のそのまた上に

^{ちんざ}鎮座させ^{たま}給う。」

^{せいしょ}聖書、^{しへん}詩編 8

神の御名

沖縄の5人の子が、両親と一緒にお父さんの故郷の広島に行きました。その台所にいたお母さんが、リアズの大きな笑い声と末っ子のアニサの泣き声を耳にしました。何事かと、お母さんが様子を見に行くと、子どもたちが仏壇の前に集まっていました。リアズが笑いながら、何があったか説明しました。



「アニサが仏壇の仏様に向かって、グー、チョキ、パーを出して遊んでいたから笑ったんだ。」アニサが泣きながら、

「だって、仏様がジャンケンをしているように見えたんだもん。仏様は誰かと遊びたがっているように見えたのよ。」と言いました。するとモナが、

「アニサ、ジャンケンではなくてね、仏様は手と指の格好で、教を説いておられるのよ。だから、仏様と遊ぼうとしちゃいけないのよ。もったいない。」とたしなめました。

「そうだよ。だけど、アニサは面白いなあ。」とアスマが吹き出して言いました。

「アニサ、仏様の前では膝まずいて、ビーズのブレスレットで遊びながら、『マンマンブツ』と言うようになっているのよ。」とシャラが知ったかぶりして言いました。年上のモナ、アスマ、リアズは、また笑ってしまいました。モナが訂正して言いました。

「シャラ、それはブレスレットではなくて数珠というのよ。それで両手を合わせて、『ナムアミダブツ』と唱えて、お祈りするのよ。そうやって聖なる精神を呼んでいるのよ。そうでしょ？お母さん？」

「そんなところね。その意味ははかり知れない存在に従います、と言っているのよ。」とお母さんが言って続けました。

「よその国では仏様に向かって、宇宙のひびき、という意味の『オーム』と唱えて聖なる精神に近づこうとするとところもあるのよ。」

「そう言えば、どの宗教にも似たような唱える言葉があるみたいだ。」とアスマが付け加えて、続けました。「バハイでは、神は最も栄光なり、という意味の『アラオアブハ』と唱えているのだ。」

「それからユダヤ教の人たちは『シャロム』と唱えているでしょ。映画で聞いたことがあるよ。」とシャラが言いました。

「そうね。」と言ってお母さんが続けました。「それは、神は平和なり、という意味です。どの宗教も、聖なる言葉を唱えて、聖なる精神とか神様に近づこうとしているのよね。」

「そう言えば、キリスト教の歌でも聞いたことがある。『ハレルヤ』というのだった。」とモナが言いました。

「それはね、神をほめたたえる、という意味なのよ。」とお母さんがそう言って、「その他の宗教では、どんな聖なる言葉を唱えているか、誰か知って



いる？」

「知っている！知っている！」とリアズが大声で言いました。「インド料理のレストランやヨガでは、両手を合わせて、『ナマステ』と言っているよ！意味は知らないけど、これも同じことかな？」

「その通りよ！」とお母さんが、ほめて続けました。

「ナマステは、ヒンズー教の人が唱える言葉で、あなたに映し出されている聖なる精神をたたえる、と言っているのです。他には、どんな聖なる言葉があるかしら？イスラム教では何と言っているかしら？」

しばらく、みんな互いに顔を見合わせて、黙ってしまいました。ちょうどそのとき、お父さんがやって来たので、お母さんが聞きました。

「ねえねえ、お父さん、イスラム教の人が、神様とつながろうとするのに使う言葉は何だったかしら？」お父さんが、にっこりして答えました。

『インシャアラ』だったら、思い出せるんだけど。」それを聞いて、お母さんが吹き出してしまいました。子どもたちは何がおかしいのかわからず、きょとんとしました。お母さんが、吹き出したわけを説明しました。

「インシャアラは、神がお望みなら、という意味なのよ。だから、お父さんが言ったのは、神がお望みなら思い出せるんだけど、だったのよ。でも、インシャアラがその聖なる言葉なのよ。イスラム教の人たちがいつもこの言葉を使うのは、すべてが神の御手にあるというのを知っているからです。」

「わかったぞ、もうひとつ思い出したんだけど、バビ教では何て言っていたか知っているかい？」とアスマが聞きました。

『ヤー、アリウアラ』だったよ。」とモナが答えました。モナとアスマはサマースクールで、それを歌で習ったところでした。

「正解。それは、おお、最も気高いものより、もっと気高いものよ、という意味だよ。」とアスマが威張って言いました。

「わあ！聖なる言葉って、いろいろ、たくさんあるんだなあ！とリアズが感心して言いました。

「これだけではなくて、どの宗教にも、人間が言葉を話すようになってから、永遠の聖なる精神とつながろうとする、特別な言葉があったのよ。」とお母さんが説明しました。

「それじゃ、どの宗教でも、同じ人に向かってお祈りしていたの？」とシャラが聞きました。

「神様は人じゃないんだぞ、バカだなあ、おまえは！」とリアズが笑って言いました。

「人じゃないなら、彼は何なのよ？」とシャラが言い返しました。

「男でもないから、彼でもないんだ！」と言いながら、リアズが大声で笑いました。

「お母さん！リアズが私をいじめるのよ！なんとかして！」とシャラが叫びました。

「まあ、まあ、落ち着いて！誰も神様が何かを理解できないから、理解できない存在と呼ぶ



人もいます。アメリカインディアンは偉大な精神と言っています。私たちが知っているのは、神様は存在するものすべての創造主であり、聖なる属性、たとえば、愛、慈悲、許しとか、寛大さなどをあらわしているのが神様なのね。」と言って、お母さんが説明しました。



「世界中の人々が、古代から現代まで、理解できない偉大な存在に近づこうとしてきました。それが、すべての喜びと光の源だからです。たとえて言うなら、世界中のたくさんのいろいろな鏡が、いつの時代でも、ひとつの偉大な光を映し出してきました。人々は、それらの鏡に映し出された、その偉大な光を、異なる呼び名で呼びました。でも、どの呼び名も、実は神の御名、最大名でした。」と言って、お母さんが締めくくりました。

「最大名がいくつもあるというのは、おかしいんじゃないか？最大と言えば、一つだろう？」とリアズが不思議そうに言いました。

「神様は決まった名前がないので、呼び名がちがっても、その名はどれも最大名というのよ。たとえば、私の呼び名は、お母さん、お婆さん、子どものときはトゥティ、私の名はルアナ、どれも私です。」とお母さんが説明しました。 「すごい！お

れたちは偉大なパズルの答えを知っているようなものだ！だって、どの最大名も神様のことだと知っているもん。」とアスマが喜んで言いました。

「大事なものは、すべての人の魂に最大名の聖なる精神が映し出されているのを知ることです。そうすれば、誰にも不親切にすることはないでしょう。」とお母さんが言いました。

「そうよ！妹にもね。」と言って、シャラはリアズに舌を出しました。お母さんがシャラを見て、たしなめました。でも、リアズは気にせず、ただ笑っていました。

「シャラ、たとえ完全になくても、リアズにも聖なる精神が映し出されているのを知るようにしなければいけないのよ。」とモナがさとししました。みんな、リアズに聖なる精神があるかどうかを想像しながら、笑ってしまいました。

「最大名の話に戻しましょう。」と言って、お母さんが続けました。

「アブドル・バハが言われるには、『ヤー、バハオラ、アブハの叫びには宇宙にとどろく、すべての叫びがある。』そうです。みんな、ヤー、バハオラ、アブハの意味、憶えている？」

「おお、最も栄光より、もっと栄光よ！」と年上の3人の子が一斉に答えました。

「正解。アブドル・バハは、『世界の始まりからの、すべての最大名がこの一番新しい最大名に含まれる。』と言われました。さらに、『最大名は夜明けに目覚めるとき、最初にそれを唱えるべきである。そして、夜、枕に頭を沈めるとき、最後の言葉とすべきである。』と言われました。」

「知っているよ、それ、いつも寝る前にお母さんが言っていたのよね。寝る前に最後にすると、」とアニサが始めると、他の4人の子が加わって、

「目が覚めて最初にするのは、『ヤー、バハオラ、アブハ』と唱えること。」と締めくくって、みんな笑いました。お母さんがにっこりして、言いました。

「その通り！ありがとう、それで思い出したわ。そろそろ寝る時間ね。この部屋を片づけて、ふとんを敷くのを手伝ってね。」
「あーあ、」と子どもたちは、まだ寝たくないのにと残念そうにため息をつきました。そして、お母さんがふとんを出す間、みんな立ち上がって片づけ始めました。

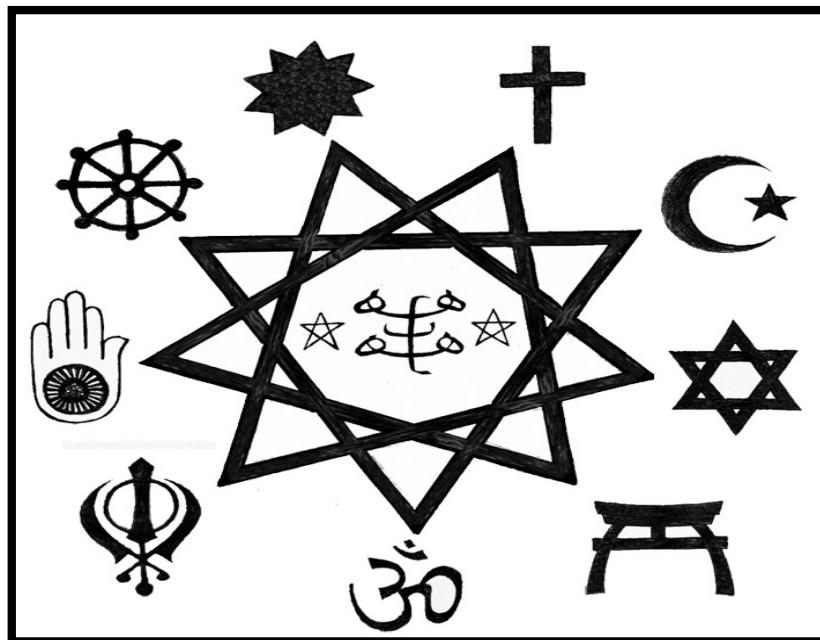


「神の御名」と言う歌が次のサイトにあります：

<http://www.youtube.com/watch?v=vo8NzYg2znM>

「最大名」という歌は次のサイトにあります。

<http://www.youtube.com/watch?v=bDNzrW60aoo>



クイズ

1. 5人の子の家族はどこに行きましたか？

2. お話の始めでアニサは何をして遊んでいましたか？

3. アニサは誰と遊んでいましたか？

4. よその国では仏様に向かって何と唱えていますか？

5. ユダヤ教の人が唱える聖なる言葉は何ですか？

6. キリスト教の人が唱える聖なる言葉は何ですか？

7. ヒンズー教の人が唱える聖なる言葉は何ですか？

8. イスラム教の人が唱える聖なる言葉は何ですか？

9. アブドル・バハが言われた、宇宙にとどろく叫びは何ですか？

10. アブドル・バハが言われた、朝目覚めたとき、夜寝る前に唱える聖なる

言葉は何ですか？ _____

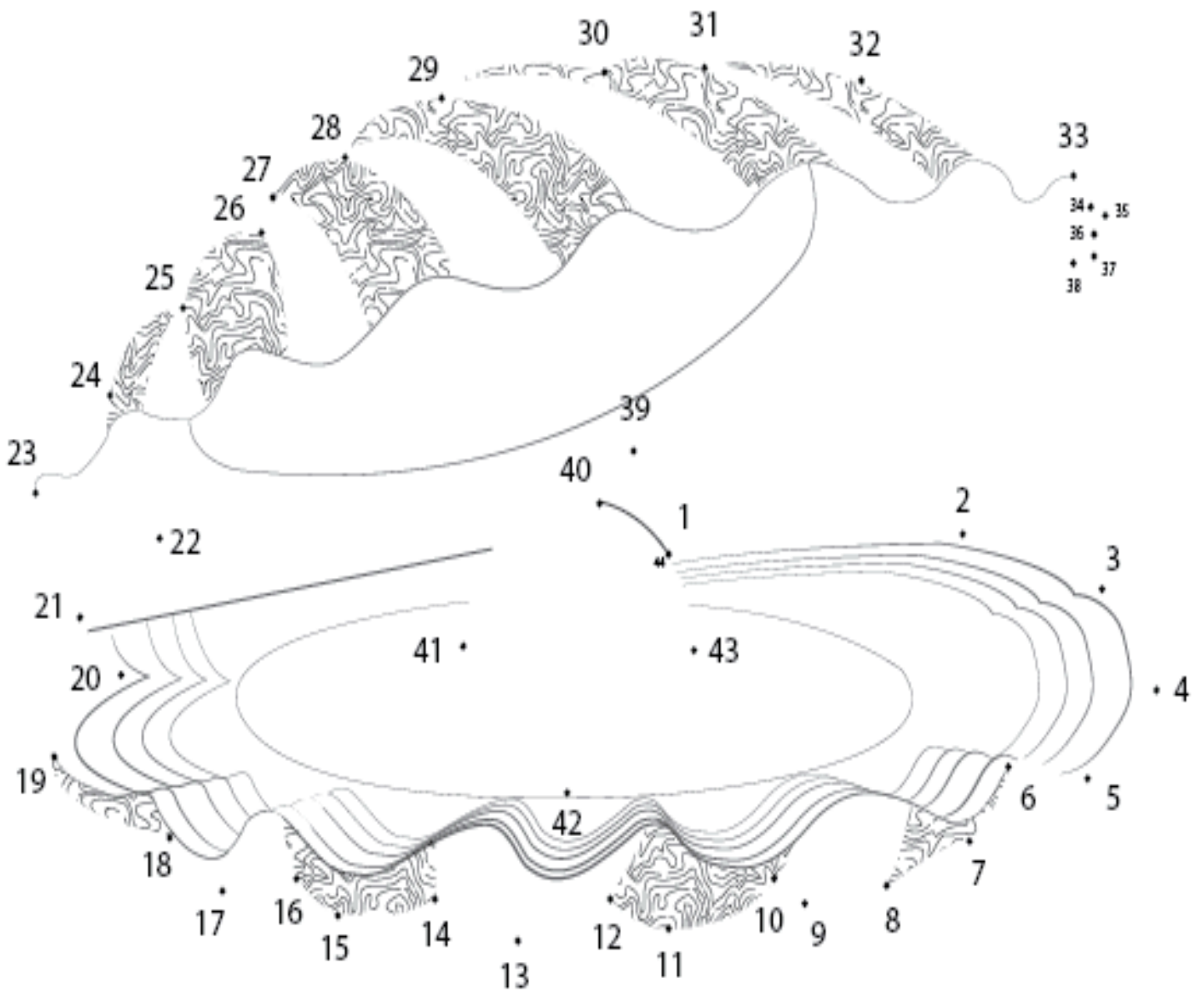
_____ どうでしたか？全部答えられましたか。答えは保護者のページの

お話のあとにあります。



ぬり絵

1 から 44 まで番号順に点を線でつないで、絵を完成したら色を塗りましょう。



真珠貝の飾りの作り方

ざいりょう 材料

* 小さい、二枚貝の貝がら

* にせ真珠

* いろいろな色の小さいビーズ玉

* つなぎ丸カン(貝がらに取りつける輪で、チェーンやひもが通せる)

* チェーンかひも(貝がらを吊るして、ネックレスやブレスレットがつくれる)

* 木工ボンドまたは透明ボンド

つく かた 作り方

* 貝がらにボンドを流し入れる

* 貝がらの中央に、にせ真珠を入れる

* にせ真珠のまわりにビーズ玉をちりばめる

* つなぎ丸カン半分を貝がらの上部のボンドに沈める

* ボンドを乾かす

* 貝がらを輝かせるため、裏にボンドをうすく塗って、乾かす

しんじゅがい かざ かざ 真珠貝の飾りのでき上がり

* チェーンかひもに真珠貝の飾りを吊るして、ネックレスやブレスレットにしてもよい



彼こそは神におわします。おお神様、わたしの神様、

わたしに真珠のような清き心をお与えください。

アブドル・バハ



保護者のページ

親として子どもの教育者として、私たち大人は子どもがよその人の文化や宗教を尊敬するよう教育する必要があります。そうすれば、今日の世界にある敵対や不和をなくすようにすることができます。

みなさんも世界的宗教やいろいろな国にある土着宗教や文化を家族で学習する計画を立てたらどうでしょう。そのとき、それぞれの違いを見つけるのではなく、似ているところをさがすようにするとよいでしょう。次のバブの引用文が学習の参考になると思います。



「最初に神が現れたとき、神の御意志がアダムに現れた。ノアの時代には、それがノアに知らされた。アブラハムの時代には、アブラハムに。同じくモーゼの時代には、モーゼに。イエスの時代も、神の使徒、マホメットの時代も。バヤンの書を著わしたもの（バブ）の時代も、その次に神が現れる御方（バハオウ）の時代も、そのまた次に神が現れる御方の時代も。それゆえ、神の使徒、マホメットが発した言葉、「我は、すべての預言者である。」の内なる意味は、どの預言者にもさん然と輝いてきた光は、これから後の預言者にも同じ太陽の光の如くさん然と輝く、という意味である。」 バブ



No. 259

2014年9月発行

ひるの星をカラー印刷するには以下のリンクにアクセスしてください。

<http://hirunohoshi.weebly.com/>

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目2番13号

電話：03-3209-7521 FAX：03-3204-0773

ひるの星委員会：グレン・ロウ、バウデンカービー真己、平原静志、平原ルアナ

物語：平原ルアナ

和訳：平原静志

ぬり絵：グレン・ロウ

写真：ウィキペディア、平原ルアナ、イヴァ・尊田、グレン・ロウ

さし絵、平本かおり、スティーヴ・パスカル、グレン・ロウ

テクニカルアドバイザー：グレン・ロウ

監修：平野祐一